



## 体長四メートルのこんぶ

### わが村で初の養殖成功

「とる漁業からつくる漁業へ」  
変わりつつある今日、わが村でも初の試みである養殖昆布が成功した。この養殖を試験的に行なったのは大佐井の金丸嘉一郎さん（63）で、昨年十月青森増殖センターから菌をとり入れ、ロープにこの菌をうえつけ、矢越湾内の海中に入れた。この間五、六カ月、ロープには見事な昆布が付着していた。あまりに多すぎ、これを間引きして帰った。この間引き昆布は見事に成長し、体長は四メートル以上一本で一キロもするものばかり。また、一年昆布もロープが見えないくらいの付着ぶり。

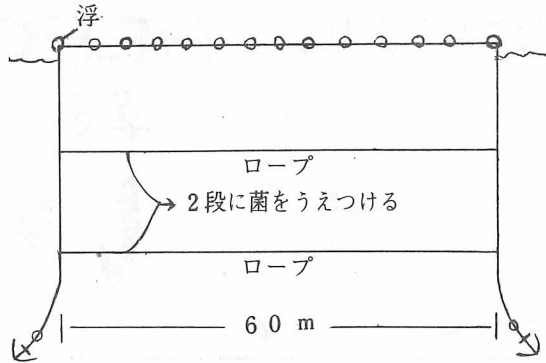
「養殖と言っても、わずか数カ月間でこのように成長するとは考えてもみなかった。」とは、養殖した本人金丸嘉一郎さんの話で、「これからは本格的に養殖をやりたい。」とのこと。

金丸さんの養殖の方法は、ロープ七〇メートルものを二本使い、四〇センチ間隔に浮をつけ、この浮と浮の間に菌をうえつけるごく簡単な方法である。この水揚げは七月中旬で、干上りで四〇キロはあろうとみている。

これから第二次漁業構造改善事業の一つとしても、この養殖昆布が大きくとり上げられているが、この方法は、次の図のとおりで、六〇メートルロープを二段にし、この二本のロープに菌をうえつけ



養殖に成功した金丸さん



るもので、経費は六〇mもの一揃いで六万円ぐらい。養殖の場所は長浜附近と牛滝から南方面の二カ所が候補にあげられている。これによって漁家一戸当りの水揚げは百万円以上になるものと見込んで

### 稚貝の放流も

漁組では、昭和四十四年から県と村からの助成で、漁家所得の向上をめざしアワビ稚貝の放流を行なっている。  
四十四年は一万五千個、四十五年度は二万個の稚貝を黒岩のタカネに、ことしはオリパ先、平カト

## 大漁に泣く漁師

### コウナゴの売れゆきにびる

昨年を上まわるコウナゴの豊漁で、漁師の顔がほころびかけた矢先、市場では買い手がつかず、漁協ではとまどい始めた。

このコウナゴの漁期は、普通五月から六月であるが、ことしは四月下旬からとれだし、しかも連日の豊漁。例年の二倍から三倍を漁獲する日も珍らしくなかった。あまりとれすぎて天日乾燥の場所もなく、部落では屋根にも干すほどであった。  
日が西に沈むころ男達は海に出かける。漁場は長後以南の海岸。太陽が海に沈むと同時に照明がつく。実に海の銀座ともいふべきにぎわいである。照明に群がるコウナゴ。「コウナゴがきたぞ。」の声に、すくい網でこれを探り、箱に入れる。

シ沖、磯谷タカイワ附近にそれぞれ五千個を放流した。  
これらアワビの採貝は、四十七年まで禁漁とし、四十八年秋から採貝する予定で、水揚目標は千三百万円とのこと。

稚貝の放流は今後毎年行なうことになり、これに伴って年々水揚が多くなる見込みです。

午後十一時漁をやめ港に向う。午前零時入港。船を待つかあちゃん達はさっそくバナーに火を入れてからコウナゴ煮が始まるのである。釜を二つ用意、沸騰と同時にこのコウナゴを入れる。



煮上げるまでは数分間。「タモ」でこれをすくいあげ折箱に入れるかあちゃん達はこれを運び積み重ねる。

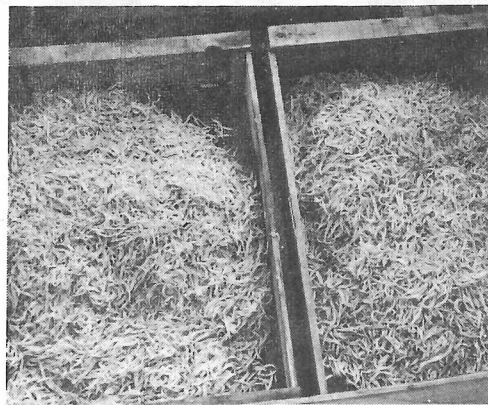
ねる。ようやく全部のコウナゴが煮上がった。いつの間にか東の山あいから太陽が顔を出していた。午前五時、ようやく作業が終った。家に帰り朝食をとる。寝るいとももない。海岸の砂浜には「むしろ」が敷き始められる。煮上がったコウナゴの乾燥作業が始まる。これが終るのは夕方なのである。

「二十四時間労働」とはこのことであろう。だが、この労働に対する見返りは二日間で二十万円から三十万円(小羽のチリ天で二五〇kg―三五〇kg)はある。だから漁師達は寝ずに頑張るのである。

このほくほく顔もつかの間、市場への出荷も回を重ねるうち北海道が豊漁のため値が下り始めた。売り手と買い手の折り合いがつかず市場ではコウナゴがだぶついてしまった当初「小羽のチリ天」でキロ当り九百円のもの、二百円から三百円でも買い手がなくなりました。幸い、前半の出荷で昨年の売り上げを少し上まわったこ



乾燥作業



煮上がったコウナゴ

したいものである。



消防団観閲式

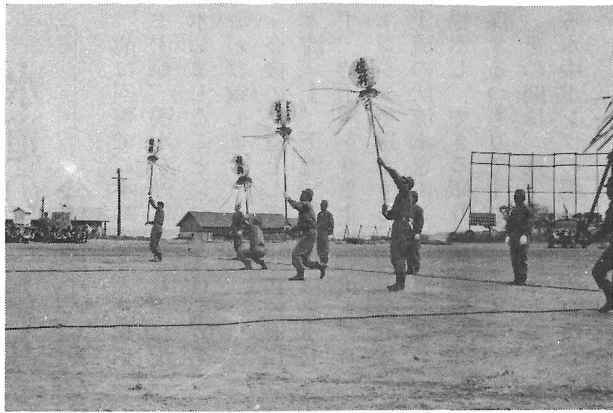
「たよれる消防団」

藤田団長が消防庁長官表彰  
川目婦人消防協力隊も参加

消防団定期観閲式は六月二十三日、佐井小学校グラウンドに百五十人の来賓をむかえて催された。

当日は好天にめぐまれ、来賓の注目するなかで、団員ならでの機敏な行動で演習を行ない、「優秀である。」の講評があった。特に注目をあびたのは、川目婦人消防協力隊員のポンプ操法で、男顔負けのきびきびとした行動で来賓から拍手をあびた。

最近、道路の整備が進み、年々



ま と い ふ り

観光客の来賓も増えてきている。

また、時代の移りとともに家庭での燃料も薪から灯油、ガス、電気などに切りかえられてきている。

このようなことから、一旦火災が発生すると大事になりかねない。

そこで、わが消防団の使命と村民からの期待がますます大になってく

るものである。幸いにしてわが村には、八分団と婦人消防協力隊の二

百五十一人からなる団員と、消防自動車一台、ガソリンポンプ四台

可搬式小型ポンプ十三台が配置されており、また、こ

とし購入予定の消防自動車一台を含めると、機動力は

十分ではないかと思われる。観閲式当日の演習も、実

践しながらの気合いのこもったものであり、「村民が

安心したたよれる消防団」を象徴したものであった。

この観閲式では、次の人たちが表彰された。(敬称省略)

消防庁長官表彰(竿頭授)

佐井村消防団

消防庁長官表彰

青森県知事表彰 佐井村消防団 第七分団  
県消防協会長表彰 第八分団

右同(現場功労章) 田中太 吉

内藤清美、宮部房雄、田中長次郎)

長谷川福一、荒川昭夫、越膳定吉

浜野幸雄

団長藤田貞雄

右同(勤功章) 横浜松雄、紀伊忠美、館協博二

右同(勤続章十五年以上) 宮野義栄、横濱耕一、磯川徳蔵、福

田清次郎、(十年以上) 島野芳之

大間支部長表彰(現場功労章)

田中太吉、内藤清美、田中長次郎

宮部房雄、越膳定吉、長谷川福一

荒川昭夫、浜野幸雄

大間警察署長表彰(人命救助)

奥本進、山田ツエ、金丸剛

佐井村長表彰(感謝状)

国歌作詞作曲 品田素一

ホース寄贈 市川ヒデ

消防団長表彰(精勳章)

木下彦男、山本輝明、畠中徳雄、

福田義一、木部歳雄、佐藤唯一、

中村清次郎、木下重幸、新田定雄

東出正美、大石実、田中忠弘、野

村勝行

佐井村消防団歌

一、愛岩葉師の嶺を背に

古く開けし わが郷を

生命をかけて 護るなり

その名は佐井村消防団

になうわれらの 任重し

二、高き誇りを 胸に秘め

結びは強く一筋に

明るき村を 造るなり

その名は佐井村消防団

進むわれらの 道けわし

三、天と人の災害に

備えは固く 身も軽く

住みよき村を 築くなり

その名は佐井村消防団 燃ゆるわれらの意気たかし

あわび養殖

についてお願い

佐井村漁業協同組合

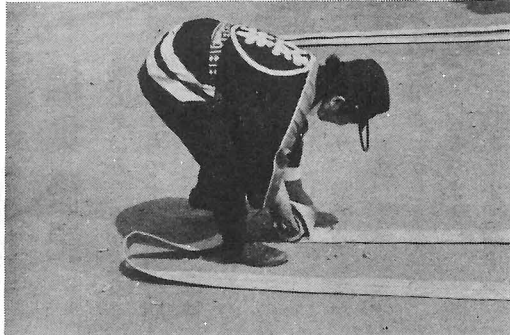
大正から昭和の初期にかけては 当村の名産品であり、大量に生産された「あわび」は、打ち続く磯焼けと無計画に等しい濫獲によって、年々極端に減少し、現在では枯渇寸前の状態となっています。 当組合では、このような状態のあわび資源の増殖対策として、今後三年間の全面禁漁と、これに併行して、村当局の助成のもとに稚貝の移植を実施することになり、すでに昨年度一五、〇〇〇粒、本年度二〇、〇〇〇粒の放流をしています。このように全面禁漁と多額の投資をしてあわびの増殖をはかっています。心ない漁業者、観光者、遊漁者によって不法採掘されるものが毎年少なくなっているので、今年から専門監視員を各地区に配置し、徹底的な密漁取締りをするこ

とになりました。

あわびに限らず、水産資源は国民の嗜好とタンパク食糧源として欠かさないものであり、また、我々漁民の生活と村経済を支える大きな柱でありますから、皆様の一層のご協力をお願い申し上げます



放 水



婦 人 協 力 隊



# 水道のにぎりと 今後の対策について

前に回覧でご承知のことと思  
いますが、濁水を浄化しきれずに配  
水しましたことについては心から  
おわび致します。

今後の処置としては、古佐井川  
本流(上、下流)の濁水は集水せ  
ず、時雨沢をせき止め、デーゼル  
エンジンで送水する一方、碎石場  
上流の伏流水をポンプで濾過池へ  
揚水し、できる限り計画水量を確  
保するつもりです。

その間に、地下水を揚水してい  
る水中ポンプの濁りの原因を調査

「ねんきんだより」

## きちんと納めることが第一

### 国民年金は納めましたか

税金に納入期限があるように、  
国民年金にも納入期限があること  
をご存じですか。

国民年金のかけ金は、四、五、  
六月分は七月まで、七、八、九月  
分は十月まで、十、十一、十二月  
分は一月まで、一、二、三月分は  
四月までに納めることになってい  
ます。

毎月納めている人はよいのです  
が、何か月分かまとめて納めてい  
る人は、この期限を知っておいて  
ください。

もし、期限までに納めませんと  
主人に死なれたり、交通事故など  
でケガをしたときなどに支給され

し、最悪の場合はボーリングによ  
って新しい水源を求める予定です  
これらの工事が終るのは七月二十  
日頃であり、この間は給水タンクに  
よる給水をします。この給水では  
大変不都合ですが、村としても  
一日も早く正常にもどるよう努力  
しますから、皆さんのご協力をお  
願ひします。

なほ、給水時間に外出される場  
合はポリバケツ等を道路へ出して  
おいてくだされば係員がそれに給  
水します。

る年金がうけられないこともあり  
ます。  
国民年金のかけ金は期限内に納  
めましょう。

## 二カ月を経て

就任二カ月、月日の流れの早さ  
を今改めて痛感させられました。

まっさきに医師の問題が起こり、  
どうか診療所の先生を確保し、  
また、開発センター、役場庁舎の  
設計を具体化し、今大佐井橋用地  
の解決を早めたい考えでおりまし  
た。この間、各漁港の今年度計画  
も入札を終了致しました。

ところが、佐井地区の水道が意  
外に能力が悪化しており、急いで  
飲料水を別に確保しなければなら  
ないことが判明いたしました。従  
って、今この仕事に職員と一体と  
なり取り組んでおります。

## おしらせ

今まで毎日行なっていた健康相  
談は、七月から毎週月曜日に行な  
います。また、二〇日の血圧測定  
も廃止しますから、月曜日の健康  
相談日をご利用ください。

## 編集後記

「健康相談室」

つゆどきはからだだがるく、食  
欲も衰えがちです。この時期は、  
生水は勿論、生の食物には特に気  
をつけなければならぬものでも  
なく、前に夏をひかえ、この水道  
の故障で毎日がいらだたしいこと  
でしょう。今、県の公害課から水  
道の汚濁の調査にきていますが、  
その結果がわかり次第早急に取り  
組むこととなります。二十四日か  
らは、とりあえず消防ポンプで揚  
水していただきますから、不便は間もな  
く解消できるものと思ひます。

出かせぎ者の皆さんお元気です  
か。最近、仕事上の事故が多く  
出ています。聞くところによれば  
金を多くとるため、夜もねずに働  
く人達が多いとのこと。だが、事  
故が起きてからではもうおそくは  
ないでしょうか。妻や子、そして

しかし、このために他の事業を  
中止するわけには行きません。財  
政をやりくり致しまして実行して  
参りますから、皆さんの大きな協  
力を心からお願ひ申し上げます。  
なほ、このたびの水道悪化の際

兄弟のためにも、そのような無理  
な仕事はさけてほしいものです。

この広報は、今後毎月皆さんに  
送ることにしていきますから、皆さ  
んの職場のことなどをおしらせくだ  
さい。写真も同封していただければ  
幸いです。その様子は広報を通じて  
村の人達に紹介したいと思ひます

## 戸籍の窓口

六月三日現在

お誕生おめでとう

- 若山 司(政) 古佐井
- 奥本 里美(定信) 大佐井
- 葛西疏美子(昭一) 古佐井
- 松林 政昭(昭) 古佐井
- 茶木 広美(春男) 野平
- 中村 正人(春雄) 古佐井
- 中村 建一(昭夫) 大佐井
- 太田 高入(高光) 古佐井
- 竹内 広美(光雄) 牛滝
- 大島 東哉(拓造) 原田
- 新岡 利恵(栄) 大佐井
- 新田 徳光(徳太郎) 磯谷
- 宮川加奈美(剛) 古佐井
- 館脇 忠義(克孝) 矢越
- 大畑 咲子(義秋) 古佐井

ご結婚おめでとう

- (斎藤松三郎) 古佐井
- (成田まさ子) 黒石市
- (夏石 芳明) 大間町
- (福田 陽子) 磯谷
- (横山一二三) 青森市
- (内田 けふ) 古佐井
- (佐藤 弘) 原田
- (宇賀子) 東京都

八戸市、県庁関係各課のご協力、  
ならびに郡内各市町村からのお見  
舞の電話をいただいたことをお知  
らせし、改めて厚くお礼申し上げ  
ておきます。 村長 松谷清治

- (柳田 初雄) 福浦
- (日下部和子) 金沢市
- (内田 隆男) 磐梯町
- (田中 章子) 長後
- (加藤 益則) 南勢町
- (渡辺 耕子) 古佐井
- (鍛冶 晃憲) 矢越
- (佐藤 ツル子) 鹿部村
- (川越 敏道) 古佐井
- (片倉 徳子) 帯広市
- (荒川 政勝) 大佐井
- (下山 貞子) 川目
- (横浜那五郎) 磯谷
- (柳谷まり子) むつ市
- (駒井 嘉三) 大佐井
- (新田 けい子) 稚内市
- (田中 順一) 磯谷
- (浜野 敏子) 下館市
- (田村 智) 室蘭
- (中村 孝) 矢越
- (館脇 孝一) 矢鹿市
- (大谷 恵美子) 黒部市
- (小柳 昭夫) 黒部市
- (宮川 祥三郎) 福岡町
- (田口 三郎) 古佐井
- (渡辺 テイ子) 古佐井
- (国島 正信) 尾島町
- (石田 京子) 大佐井
- (滝本 とも子) 美唄市
- (小川 起) 長後
- (磯部 弘紀) 豊浦町
- (川畑 冷子) 矢越
- (竹内 冷子) 大佐井
- (福原 冷子) 横手市
- (鈴木 俊夫) 加茂村
- (横濱 和子) 磯谷
- (島中 勇司) 大佐井
- (遠藤 芳子) 東京市
- (高橋 芳子) 大佐井
- (中村 留美子) 札幌市
- (逝去おくりやみ申します)
- (中村 徳次郎) 古佐井
- (紀伊 かの) (光三郎) 古佐井